



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

イラン経済 (10月27日~28日)

1. Royal Dutch Shell とイランとのバーター取引 (28日付テヘラン・タイムズ紙)

Royal Dutch Shell は、14億ドルの対イラン債権回収のため、米穀物大手 Cargill と組み、イランとバーター取引を行うことを検討していると取引筋が明らかにした。Shell の有する債券は未払い利息により大きく膨らんでいるが、7月1日以降、EUによるイラン産原油の取引を禁止する制裁により NIOC (イラン国営石油会社) から回収できずにいる。Shell および Cargill はコメントを拒否している。

2. イランによるトルコからの金購入 (27日付テヘラン・タイムズ紙)

トルコ中央銀行のバシチュ総裁は、2012年1~8月期におけるトルコの対イラン輸出額が85億ドルに上り、その大部分はイランによるトルコからの金購入であると述べた。しかし、8月にはUAEへの金輸出(約20億ドル)にシフトするなどしており、この動きは継続的ではないと述べた。

3. 公益評議会のレザーイー書記の発言 (28日付イラン・ニュース紙、ファールス通信の引用)

レザーイー公益評議会書記は、国際的な対イラン制裁は効果的であるとし、「敵による経済制裁が我が国に数々の問題を生じさせている。経済制裁が影響を及ぼさないという発言は誤りである。国民は結束を固め困難を乗り越えるべきだ」と述べた。

4. Vitol によるイラン産原油取引の継続 (28日付テヘラン・タイムズ紙)

Vitol は、米国やEUによるイランの外貨収入削減圧力の最中、原油取引を継続している。ロイター通信によると、Vitol は200万バレルの燃料を発電用としてイランから購入し、中国企業に売却した。同通信は、スイスに拠点を Vitol はEU制裁に従う義務を負っていないとしている。

5. 自動車部品輸入額 (27日付テヘラン・タイムズ紙)

自動車部品の本年 [イラン暦 1391年 (2012年3月20日~2013年3月20日)] 上半期における輸入額は、前年 [イラン暦 1390年 (2011年3月21日~2012年3月19日)] 同期比で44.2%減少し、7億2,770万ドルになったと、イラン税関が発表した。7億2,770万ドル

のうち1億3,000万ドルは仏国からの輸入となっている。

6. 携帯電話の輸入量（27日付イラン・ニュース紙）

イラン税関の統計によると、イランは国外から重量で471トン、金額で9,200万ドル以上の携帯電話を輸入している。前年〔イラン暦1390年（2011年3月21日～2012年3月19日）〕比ではそれぞれ185.9%（重量）、346.6%（金額）の上昇を記録しており、主な輸入先は、UAE（60%）、韓国（7.5%）、中国（18%）となっている。